

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 金沢市立鞍月小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )

住所 〒 920-0064

金沢市南新保町リ 27 番地 1

E-mail : kuratuki-e@kanazawa-city.ed.jp

Website : http://www.kanazawa-city.ed.jp/kuratuki-e/

児童生徒数：男子 355 名 女子 373 名 合計 728 名

児童・生徒の年齢 7 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

『梨の栽培学習における地元生産者の指導 3年生』

梨は、昔から鞍月地区特有の作物であり、地元の生産者によって栽培されてきた。本校

では、3年生が地元の生産者の方から、長年にわたり指導を受け、総合的な学習の時間に、梨栽培を題材に学習を行ってきた。

学習は4月に、生産者の方と出会いからスタートした。人工授粉、草取り、摘果、肥料まき、袋かけ、収穫、枝の剪定などの一連の作業を生産者の方から直接指導を受け、体験した。質問をしたり、説明を聞いたりする中で、生産者の方の思いに触れてきた。

「梨栽培」を通して、「地元で生活してきた人々の思い」を学んできた。感謝の会では、生産者の方に贈り物や御礼の気持ちを伝え、交流した。

また、梨の栽培学習を通して、全校児童や保護者との交流も行った。収穫後は、採れたての梨を全校の児童にも振る舞い、各クラスから、「おいしい梨をありがとう」とお礼の言葉を届けられた。保護者に向けて梨の販売活動も行った。子どもたち自身でお店を運営し、保護者と交流しながら自分たちが収穫した梨を販売した。鞍月フェスティバルでは、梨栽培で学んだことを、全校に向け様々な形で発表を行った。

『ぼくらの鞍月 環境と伝統を学ぶ 4年生』

4年生は、地域全体に目を向け、地域の環境問題に目を向ける学習をスタートした。

まず、関心のある環境の問題について調べ、水の問題、地球温暖化の問題、ゴミのリサイクルなどについて、分かった事を交流し合った。地域の環境に関心を持ち、「めざせエコタウン鞍月」と銘うって、自分達で取り組めるエコ活動について、学習したり、実践したりした。

ゴミ0運動の出前授業を受けたり、市役所の「歩ける環境推進課」の事業の一環として車を使わず、歩いたり、自転車を使って、二酸化炭素削減をめざす取り組みに参加した。その結果4年生全体で、クルマ利用マイナス7528分を達成し、2リットルペットボトル143、785本分の二酸化炭素の削減に成功した。

また、金沢の伝統工芸を学ぶ学習として、加賀水引細工に挑戦した。基本の「あわじ結び」をいかしたストラップを作り、伝統工芸の一端に触れることができた。伝統工芸を体験したり、商品を買ったりすることも、伝統を受け継いでいく上では大切だと学んだ。

『稲の栽培をとおして食を学ぶ 5年生』

5年生は、地元の米の生産者の方からの助言、指導の下、学校近くの田を使用して「稲作」を体験した。年間を通して、田おこし、代掻き、田植え、草取り、稲刈りなど、実際に指導を受けながら学習を進めてきた。いつも食べている「ごはん」ができるまでに、様々な仕事があることや、さまざまな人の手によってもたらされていることを、生産農家の方とふれ合いながら学んだ。収穫した米で、保護者とともにご飯を炊き、食するというのも取り組んだ。

生産農家の方から、直接話を聞いたり、指導を受けて作業をしたりすることで、「食」の大切さを改めて感じた。

『金沢学 6年生』

6年生は、自分たちのまち「金沢」について、さまざまな視点で学習を積み重ねた。遠足では金沢城公園に行き、観光ボランティアガイド「まいどさん」から金沢城公園のことについてくわしく学び、プレゼンテーションソフトを使ってまとめた。学習発表会では金沢城、兼六園、尾山神社、百万石祭り、金沢の伝統芸能など学んだことを異学年や保護者に発表した。夏休みにはジュニア金沢検定を全員が受験した。さらに、キャリア教育では金沢の「職業人」を招いて、それぞれの仕事の大変さや喜び、そして誇りについて学んだ。ふるさと「金沢」を見つめ直すことで地域を大切に作る心の育成を図った。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)  
 時間外活動の時間を使用  
 ユネスコクラブの活動として実施  
 その他( )